

Tポイントの加盟代理店に

スト
ア
サポ

不用品回収や解体工事で活用

廃棄物処理・リサイクルの募集提案も進めている。クル、および廃棄物のる。

きーを付与する他、解体工事など金額の大きい案件についてもポイントを付与している。

07年から開始した食品残さの液肥化事業では、農事生産法人アイファームを立ち上げ、野菜の生産・販売までを手掛ける。スーパーマーケットチェーンの「ふくしま（松江市）と連携してリサイクルループを構築し、

一元管理サービスを手掛けるアースサポート（松江市、尾崎俊也社長）は、「Tポイント」サービスを導入し、顧客満足度と併せて一般への知名度の向上に注力している。同サービスは、不用品回収業務や解体工事の見積もり依頼などに対してもポイントを付与するシステム。自社で導入するだけでなく、二次代理店として全国で加盟店

カルチュア・コンビニエンス・クラブが運営するTポイントカードは、ポイントを貯め、さまざまな特典を得られるもので、コンビニや飲食店など全国各地の加盟店で利用可能。現在は日本国内で4人が所有しているという。

また、松江市では事業系一廃について、可燃ごみを産廃として区分を厳格化しているが、同社ではそれらを一貫して受けることができる強みも持つ。最近では、環境と福祉の融合を目指し、NPO法人を立ち上げ、知的障害者の雇用を促進するための就労支援事業をスタートした。現在、同NPO法人では20人以上の障害者を雇用し、リサイクル品の分別作業等に従事している。

同社では多様なサービスの活用を実現しており、不用品回収なども導入が広がっている」と話しており、自社が冠スポンサーを務めるバスケットボールチームの試合や各種イベントなどでキャンペーンを行い、PRにも力を入れている。

尾崎社長は、「メリットの大きいサービスで、廃棄物処理業界でも導入が広がっている」と話しており、自社が冠スポンサーを務めるバスケットボールチームの試合や各種イベントなどでキャンペーンを行い、PRにも力を入れている。

また、松江市では事業系一廃について、可燃ごみを産廃として区分を厳格化しているが、同社ではそれらを一貫して受けることができる強みも持つ。最近では、環境と福祉の融合を目指し、NPO法人を立ち上げ、知的障害者の雇用を促進するための就労支援事業をスタートした。現在、同NPO法人では20人以上の障害者を雇用し、リサイクル品の分別作業等に従事している。



イベント時にTポイントアピール

同社は1963年に設立。現在は、一廃・産廃の収集運搬から食品リサイクル、RPF製造・販売、廃プラリサイクルなどを網羅した事業を展開。2009年には島根県から優良認定を受けている。サーマルリサイクルプ

サーマルリサイクルプ